



大槌からの発信
復興まちづくりの基盤を探る

井戸の水がどこまで上がるか？

世界初

「感潮域同時2次元地下水位計測」
参加しませんか？

期 日：平成25年5月19日(日)

集合場所：役場庁舎多目的会議室
(旧大槌小学校体育館)

時 程：午前9時半 受け付け開始
午前10時 説明の後、現地に出発、観察と準備。
正午 時報音楽「ひよっこひょうたん島」で一斉に井戸水位計測
役場庁舎多目的会議室に戻り、昼食
午後 報告会とミニシンポジウム
午後3時頃 終了予定

雨天決行ですが、
警報が発表された場
合は中止します

主 催：大槌町教育委員会

共 催：総合地球環境学研究所
「アジア環太平洋地域の人間環境安全保障：水・エネルギー・
食料連環」
人間文化研究機構 連携研究「大規模災害と人間文化研究」
環境省環境研究総合推進費プロジェクト
「湧水がもたらす生態系の頑強性と脆弱性の解明：震災後の
生態系復元に向けて」

所 管：生涯学習課 電話：0198-42-2300

©井上ひさし／山元護久／ひとみ座／NEP21 キャラクターデザイン：片岡昌

「感潮域」：潮の満ち引きによって水の深さが変化するところ

参加の方法などは裏面に



●内 容

町方や安渡では震災津波の後、建物の基礎とともに残った井戸から多くの自噴を見ることができます。地下 30m から湧き出る約 160 の湧水は、私たち大槌の貴重な資源でもあり、生活や生業とともにあった文化財とも云えます。けれども、盛り土や公園化が計画されていることはご承知のことでしょう。多くの湧水は消えてしまいます。その一方で、この地下水がどこまで上がるのか、地下水がどちらに向かって流れているかは調べられていません。井戸の多くが消えてしまう前に、後世に記録保存するとともに、生活と生業とともにあった井戸を見て思う機会として、「湧水一斉調査」を実施するものです。

井戸の水がどこまで上がるか？ 正午のひよっこりひょうたん島の音楽が鳴ったら、開始です！透明チューブを使って、50 ヶ所余りの井戸で一斉に水位を測ります。世界初の、感潮域同時2次元地下水位計測。そして湧水だけでなく、井戸のあった生活の場、新しくできた湿地、生き物など、周りの様子もともに体感して下さい。

その後に、調査の結果を参加者で共有し、それが意味すること、湧水利用などについて、水の専門家にイトヨ研究の第一人者等も加わり、ミニシンポジウム（地球環境学研究所共催：京都）も行います。併せて、イトヨの新しい「種」が誕生していることについても解説します。

なぜ一斉に計るの？ 町方・安渡の自噴井戸の湧水は、大槌湾の潮汐の影響を受けます。地下水の出口の圧力が変わるため、井戸の地下水位も時々刻々変化します。これでは井戸同士の圧力の上下関係、ひいては地下水の流れも正しく知ることはできません。「どこの場所が、どこより何 cm 高いか？」、「一斉に多地点で」計ることによって、地下水の流れる方向などをを知ることができます。

●湧水調査指導 鷲見哲也 大同大学准教授
「復興まちづくり創造懇談会」メンバー、震災前から大槌の湧水調査を行っています。

●ミニシンポジウム（総合地球環境学研究所：所管）

谷口 真人 総合地球環境学研究所 研究部 教授
窪田 順平 総合地球環境学研究所 研究戦略推進センター 教授
中野 孝教 総合地球環境学研究所 研究高度化支援センター 教授
森 誠一 岐阜経済大学経済学部 教授
秋道 智彌 総合地球環境学研究所 名誉教授

ゲストスピーカー：愛媛県西条市、東京都東久留米市、山形県遊佐町などから

●持ち物

長靴、タオル、昼食、水、筆記用具など

●付 記

- 井戸所有者のみなさんの参加をお待ちします
- 所有者の方が参加されない場合、湧水の場所に立ち入ることをご了承願います
- 「山形県遊佐町のとびうおや」のトビウオ出汁のラーメンの炊き出しが行われます、但し限定150食ですので、参加状況によっては行き渡らないことも予想されます、ご了承願います
- 調査時に非常事態となっても自力で避難できる体力が備わった方、中学生高校生の参加も期待します

●参加を希望される方は

- 生涯学習課あて、電話、FAX、電子メール、はがきでお申し込みください
- 参加人数を事前に把握するためのもので、当日の参加或いは不参加も可能です
- 締め切り 5月16日（木）

電 話：0193-42-2300

FAX：0193-42-3031

メールアドレス：syougai@town.otsuchi.iwate.jp

はがき送付先：〒028-1121 大槌町小槌 大槌町教育委員会生涯学習課 宛

*上記のいずれかの方法で、お名前（ふりがな）、ご所属またはご住所（仮設住宅にお住まいの方は元の町名も）、電話番号をお知らせください。

●協 力

ひよっこりひょうたん塾事務局、みずとみどり研究会（東京都国分寺市）、東久留米・川クラブ（東京都東久留米市）、月光川の魚出版会（山形県遊佐町）、特定非営利活動法人ゆざ環境協働組織 鳥海自然ネットワーク（山形県遊佐町）